

平成 30 年 11 月 8 日

報道各位

**「第 31 回 ACC 学生 CM コンクール」入賞者発表！**  
テレビ CM 部門 大賞・岩崎 真也さん（日本大学芸術学部）  
ラジオ CM 部門 大賞・森 文美さん（日本大学芸術学部）

一般社団法人 ACC(東京都港区、理事長：高田 坦史)は、「第 31 回 ACC 学生 CM コンクール」の最終審査会を 2018 年 10 月に実施し、全国から応募された 2,460 本(テレビ CM 部門：1,876 本、ラジオ CM 部門：584 本)の中から、テレビ CM 部門およびラジオ CM 部門において、大賞ほか各賞を選出いたしました。



木下審査委員長（写真左）と、受賞者の皆さん

本コンクールは、CM の質的向上と人材の育成を目的に 1988 年より全国の学生を対象に毎年実施しているもので、協賛広告主から提示されたテーマ商品を題材に、テレビ CM 部門は絵コンテ、ラジオ CM 部門はスクリプトを制作していただきます。

本年度は、下記 9 社からのテーマ商品を対象に、2018 年 7 月 2 日～8 月 17 日の期間に作品受付を実施。審査は、“既存の広告作品にとらわれない、学生らしくオリジナリティ溢れるアイデアを重視”を選考基準に、ACC クリエイティブ委員会(委員長：木下 一郎／電通)が厳正な審査を行いました。

なお、各賞の贈賞は、11 月 1 日(木)の「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 贈賞式・記念パーティ(東京)」にて行われたほか、名古屋、大阪の学生の贈賞については、各地で開催される「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 入賞作品発表会」内で行われる予定です。

各賞の詳細および審査委員長講評、受賞者コメントは、下記または ACC ホームページ「第 31 回 ACC 学生 CM コンクール」結果発表ページにてご覧いただけます。

■「第 31 回 ACC 学生 CM コンクール」結果発表

<http://www.acc-cm.or.jp/student/2018result/>



## 【テレビ CM 部門】 \* 敬称略

賞名	氏名 (フリガナ)	学校名	学年	協賛広告主・テーマ商品	題名	秒数
大賞	岩崎 真也 (イワサキシンヤ)	日本大学 (芸術学部)	3 年	ライオン/トップスー パーNANOX	忍び	15
金賞	中島 絵里菜 (ナカシマエリナ)	兵庫県立姫路 商業高等学校	3 年	味の素/鍋キューブ®	部活動紹介	30
銀賞	藤川 亜美 (フジカワアミ)	H A L 東京	2 年	サントリーホールディン グス/伊右衛門	つかのまタイムワープ	30
銅賞	藤村 純 (フジムラジュン)	日本大学 (芸術学部)	3 年	明治/明治きのこの山・ たけのこの里	10 回言って篇	15
奨励賞	橋本 拓海 (ハシモトタクミ)	H A L 大阪	1 年	ライオン/トップスー パーNANOX	momotarou	30

## 【ラジオ CM 部門】 \* 敬称略

賞名	氏名 (フリガナ)	学校名	学年	協賛広告主・テーマ商 品	題名	秒数
大賞	森 文美 (モリアヤミ)	日本大学 (芸術学部)	2 年	ライオン/トップスー パーNANOX	心配性	20
金賞	安東 大輔 (アンドウダイスケ)	東京国際大学	3 年	近畿日本ツーリストコ ーポレートビジネス/ ベストセレクション	二人の時間	60
銀賞	花田 光希 (ハナダコウキ)	明治大学	4 年	ライオン/トップスー パーNANOX	汚れない	20
銅賞	稲垣 宇乃 (イナガキヒロノ)	名古屋外国語大学	3 年	ライオン/トップスー パーNANOX	綺麗になったな	20
奨励賞	服部 祥子 (ハットリショウコ)	日本大学 (芸術学部)	2 年	味の素/鍋キューブ®	つめこんじゃった♪	20

## ■協賛広告主とテーマ商品 &lt;全 9 社、五十音順&gt;

&lt;社名/テーマ商品&gt;

味の素株式会社/鍋キューブ®

カルビー株式会社/じゃがりこサラダ

株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス/ベストセレクション

サントリーホールディングス株式会社/伊右衛門

株式会社資生堂/アネッサ パーフェクト UV スキンケアミルク

トヨタ自動車株式会社/クラウン

パナソニック株式会社/衣類スチーマー

株式会社明治/明治きのこの山・たけのこの里

ライオン株式会社/トップスー パー NANOX

【東京会場での贈賞式の様子】



テレビ CM 部門大賞・岩崎さんスピーチ



ラジオ CM 部門大賞・森さんスピーチ



贈賞 1



贈賞 2



木下一郎 審査委員長



受賞者の皆さん



**【ACC 学生 CM コンクールとは】**

人材育成の一環として、毎年全国の学生を対象にテレビ CM・ラジオ CM のアイデアを募る「ACC 学生 CM コンクール」を開催しています。

広告主、広告会社、制作会社、放送局のメンバーで構成される ACC クリエイティブ委員会が「既存の広告作品にとらわれない、学生らしくオリジナリティ溢れるアイデア」を審査基準に厳正に審査しており、現在では広告業界を目指す学生の登竜門的存在となっています。

**【ACC とは】**

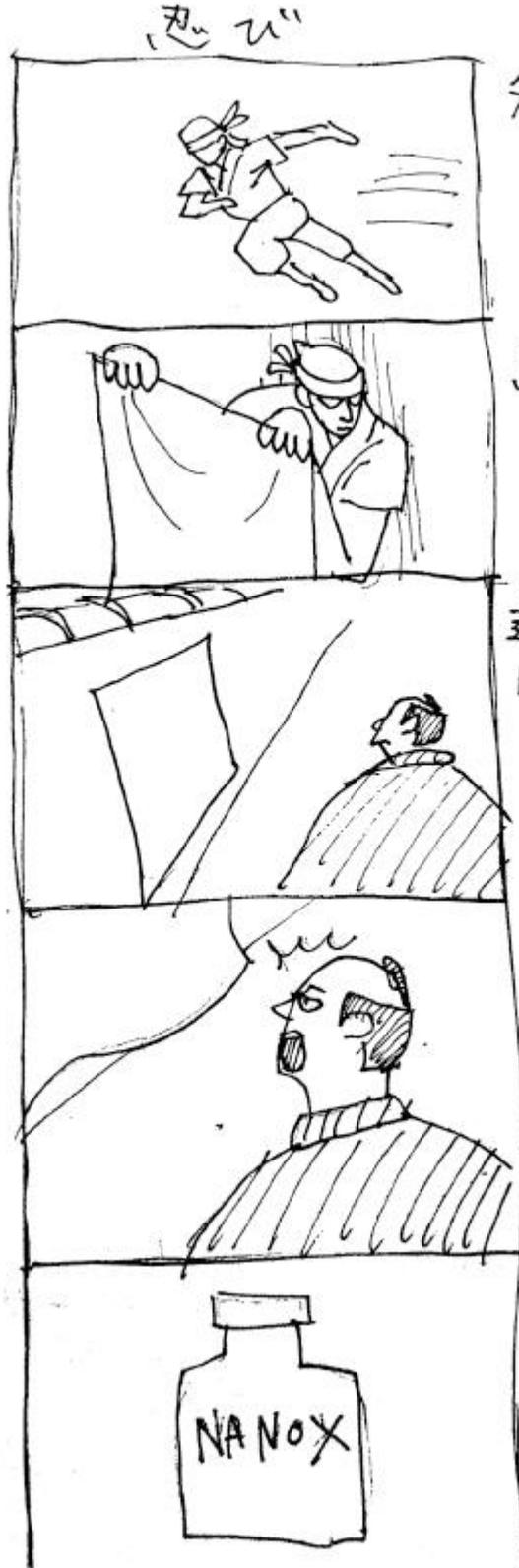
ACC (All Japan Confederation of Creativity) は、広告主・広告会社・制作会社・放送会社の 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超えグローバルな視点から日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく活動しています。

2018 年 10 月、法人名称を「一般社団法人 全日本シーエム放送連盟」から「一般社団法人 ACC」に変更しました。

【テレビCM 部門・大賞】 岩崎 真也さん 日本大学 (芸術学部)  
 ライオン株式会社 / トップスーパーNANOX  
 題名：忍び 秒数：15 秒

VISUAL

AUDIO



忍び

タタタ

忍「こまじければ大丈夫」

追手

「ここに奴が来たよ」

追手

「何だこの目さし!!」

「お子からに

白くす子」

【ラジオ CM 部門・大賞】 森 文美さん 日本大学（芸術大学）  
ライオン株式会社／トップ スーパー NANOX  
題名：心配性 秒数：20 秒

SE:洗濯機が回る音  
息子:あれ、母さん洗濯機見つめて何してんの？  
SE:洗濯機が回る音  
母:.....  
息子:母さん？  
SE:洗濯機が回る音  
母:.....  
息子:母さん！！

NA:心配しなくても落ちますよ  
手強い汚れも安心洗浄  
トップ スーパーNANOX ライオン

### 【第 31 回 ACC 学生 CM コンクール 審査講評】

#### ■木下審査委員長 < 全体講評 >



完成度だけでなく、学生らしい視点、ジャンプの仕方をポイントに審査させて頂きました。テレビ CM は岩崎さんの忍者のシンプルで痛快な笑い、中島さんの高校生とは思えないコンテの出来と野球部、排球部、鍋キュー部の部活紹介のユニークさ、そして藤川さんのやられた！と思った伊右衛門企画の完成度の高さ、どれも素晴らしい出来で大接戦でした。ラジオ CM は思わず画が浮かんでくる森さんの NANOX、60 秒の心温まる安東さんの近畿日本ツーリスト、花田さんと稲垣さんの作品も心温まる作品で癒された審査会でした。服部さんの鍋キューブの替え歌も頭に刷り込まれました。

#### ■テレビCM部門・大賞 講評

15 秒のキレと言い、愉快痛快さと言い、審査委員から一番笑いが出ていた作品です。トップ スーパー NANOX で洗ってしまったために待っていた悲劇（笑）プロが忘れがちな笑いの原点を岩崎真也さんの作品に気付かされた感じです。CM ならではの時代の飛び方にもシンプルで大胆な手描きの画にも拍手です。

#### ■ラジオCM部門・大賞 講評

ラジオからは洗濯機のまわる音が聞こえ、そして共感を呼ぶセリフとナレーション。汚れが落ちるのか心配そうに洗濯機をじっと覗き込む母の姿が目には浮かんできます。ラジオらしく耳からの情報だけなのに、微笑ましく愉快的映像が目には浮かぶ素晴らしい作品だと思います。ライオン トップ スーパー NANOX の効き目もうまく訴求できました。一回目の投票で大賞は森文美さんの作品に決定しました。

## 【第 31 回 ACC 学生 CM コンクール 大賞受賞コメント】

## ■テレビ CM 部門・大賞 岩崎 真也さん 日本大学（芸術学部）



この度はこのような素晴らしい賞をいただき大変光栄に思います。絵コンテを描くこと自体がはじめてだったので、その商品の良さがどうやったらうまく伝わるのか試行錯誤しました。いろいろ考えて描くのは難しかったのですが、楽しく取り組むことができました。まさか私が賞を頂けるとは思っていなかったので大変驚いたのですが、周りの友達がお祝いの言葉をかけてくれ、受賞の実感がわき始めました。これからは一生 NANOX の香りを振りまきながら生きていきたいと思います。関係者の皆様、日頃ご指導いただいている先生方に厚く御礼申し上げます。これからもこの賞を励みに一生懸命面白いものを作っていきます。

## ■ラジオ CM 部門・大賞 森 文美さん 日本大学（芸術学部）



受賞の連絡をいただいた時、人生で初めて頬を抓りました。痛かったです。このような素晴らしい賞をいただけた事が未だに信じられません。自分の作品が面白いのか、自分の考えが伝わるのかいつも手探り状態でしたが、大賞という評価をいただき、少し自信を持つことができました。トップスーパーNANOX では昨年度たくさんの方々が受賞されており、素晴らしい作品ばかりだったので、どこか既視感のあるアイデアや表現ではなく、全く新しいものを考えるのには苦戦しました。その努力が、このようなかたちで報われ嬉しい限りです。関係者の皆様そして、いつも私を支えてくれている周りの方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました！